

取扱説明書差し替えのお願い

2017年5月

ウチエ株式会社

仕様変更により取扱説明書が変更されております。ご迷惑をお掛け致しますが、添付されております取扱説明書の該当ページと差し替えいただきますようお願い申し上げます。

訂正版(取扱説明書 P1)

各部名称

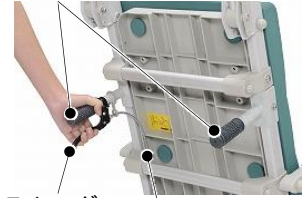
穴無しシート



U型シート



リクライニング
グリップ



リクライニング
レバー

ワイヤー

タイヤストッパー
ペダル



穴無しシート ヘッドレストF付き



U型シート ヘッドレストF付き



穴無しシート (シート+取付板)

付属品

- ・ご使用のしおり(本書)
- ・+ドライバー(#3)
- ・スパナ(10x12mm、ワイヤー張り調整用)
- ・組立用ねじ(本体、リクライニンググリップ)

※別売品でシートベルト(本体取付タイプ、フリータイプ)がございます。

仕様

材質	・本体/アルミニウム合金、アルミダイカスト成形品、ステンレス ・ハンドル/ポリアミド、PVC ・背、座、レッグシート/EVA ・肘掛け/ポリアミド、EVA ・ガスシリンダー/ステンレス ・前輪タイヤ/天然ゴム ・後輪タイヤ/PU(発泡) ・リクライニングレバー/アルミ ・ワイヤー/ステンレス				
重量	約 20kg(ヘッドレスト F 付き: 約 21kg)				
車輪	前輪/5 インチ ・後輪/10 インチ				

サイズ

単位: cm

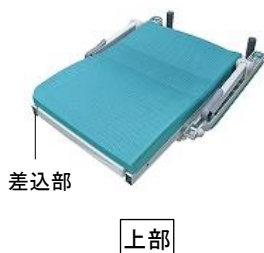
全幅	50.5	後座高	40(36)	リクライニング角度	約 104~136°
全長	110(144)[110(149)]	座幅(肘~肘)	42	座シート角度	約 5° (8°)
全長(フットレストなし)	83(113.5)[83(119)]	座シート奥行	40.5(43.5)	背もたれ幅	41
全高	100(88)[115.5(94.5)]	肘から前座	26.5(26)	背もたれ高さ(後座から)	62
前座高	43.5(42)	前座から足台	41(37.5)	※()は最大リクライニング時、[]はヘッドレスト F 付き時(ヘッドレスト最低高さ)	

ご使用にあたって

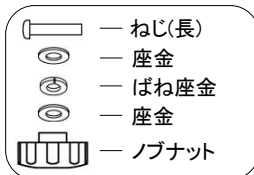
- ・シャワー浴用に設計されています。浴槽に沈めての使用(中間浴)はしないでください。
- ・室内専用です。屋外では使用しないでください。
- ・硫黄系の入浴剤や、温泉をかけての使用はしないでください。温泉の泉質によっては、塗装がはがれたり、樹脂の劣化や金属部の腐食が発生し、破損、けがの原因となりますので、ご注意ください。
- ・入浴剤入りのお湯をかけると、車輪の回転などの動きが悪くなる可能性があります。

部品の確認

●開梱後、下記の部品がすべてそろっているか、また、破損していないか確認してください。万一不足している部品や、破損している部品がある場合は、販売店、または弊社までご連絡ください。



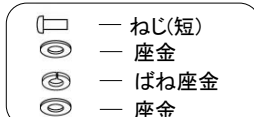
・リクライニンググリップx1 (レバー無)
・組立ねじ(本体)x2



・+ドライバー(#3)x1



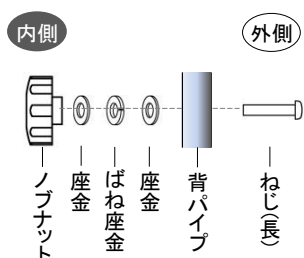
・組立ねじ (リクライニンググリップ)x2 [レバー付、レバー無]



組立の仕方



写真①



図①



写真②



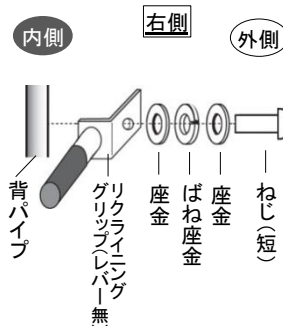
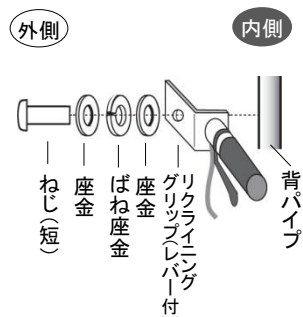
写真③

- 1.ワイヤーがフレームに引っ掛からないように注意しながら、下部の凸部に上部の差込部を合わせて上部をしっかり差し込んでください。(写真①)
- 2.穴位置を合わせて外側からねじ(長)を差し込み、差し込んだねじ(長)に座金、ばね座金、座金を通してノブナットを合わせ、+ドライバーでねじ(長)をしっかり締めてください。(図①、写真②) 反対側も同じようにしっかり締めてください。
- 3.フットレストパイプを差込口に於て、そのままカチッと音がするまで上に差し込んでください。(写真③)
- 4 使用の状態に応じて、操作がしやすいようにハンドルの向きを変えてください。(P5 参照)

●リクライニンググリップ(レバー付、レバー無)の取り付け

・リクライニンググリップ(レバー付、レバー無)は左右どちらにも取り付け可能です。(出荷時はレバー付きグリップ左側取付仕様)
・ワイヤーはレバー付きグリップを取り付ける側に寄せてください。

- 1.パイプの間に通したレバー付グリップを補強パイプ内側に通し、ワイヤーと一緒に左側に寄せてください。
- 2.穴位置を合わせて外側から座金、ばね座金、座金を通したねじ(短)を差し込み、+ドライバー(#3)でねじ(短)をしっかり締めてください。
- 3.レバー無グリップを右側に合わせ、同様にしっかり締めてください。



⚠ 注意

※組立後、次のことを確認してください。

- ・上部と下部はしっかり取り付けられていますか？
- ・ワイヤーがフレームなどに引っ掛かっていませんか？
- ・フットレストパイプは引っ張っても抜けませんか？
- ・リクライニンググリップ(レバー付、レバー無)はしっかり取り付けられていますか？

※リクライニンググリップ(レバー付、レバー無)取付ねじがゆるんだ場合はしっかり締めてください。



レバー付グリップを右側に取り付ける際は金具が外向きになるようにグリップの向きを変え、レバー取付ねじをゆるめてレバーを下向きにし、再度ねじを締めてください。

分解の仕方

- 1.リクライニングレバーを握り、背シートを完全に起してください。(P5 参照)
- 2.両側の肘掛けをはね上げ、両側のハンドルを上向きにしてください。(P3、P5 参照)
- 3.リクライニンググリップ(レバー付)を取り外し、『組立の仕方』と逆の手順で分解してください。(P2 参照)

⚠ 注意

- ※分解後はワイヤーが引っかからないように保管してください。
- ※外した部品は紛失しないように保管してください。



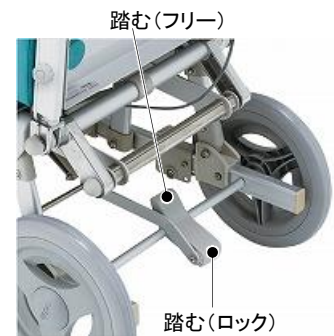
車輪の固定、解除

10 インチ車輪(後輪)

- ・ストッパーペダルの手前を踏むと、ロックがかかります。
- ・ストッパーペダルの奥を踏むと、ロックが解除(フリー)します。

⚠ 注意

- ※移乗、停車、入浴、背もたれの角度調節をする際は、必ず後輪タイヤをロックしてください。不意に本体が動き、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※ロックをしていても本体に強い力が加わったり後輪と床との相性で本体が動く場合がありますので注意してください。
- ※ストッパーペダルを踏み抜くなど、ストッパーペダルにあまり強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。



段差越えの仕方

- ・使用者をのせたまま段差を乗り越える際は背もたれを完全に起こし、2人以上で車椅子を水平に保ちながら、下部フレームを持ち上げてください。



⚠ 注意

- ※持ち上げる際は手を挟まないよう注意してください
- ※無理に前輪上げをしないでください。
- ※ハンドルを持ち上げて後輪を浮かせながら段差を越えないでください。破損、故障するおそれがあります。
- ※リクライニングしている状態では、車椅子を持ち上げないでください。
- ※持ち上げる際は、肘掛け、フットレスト、ハンドル、座受けなどは持たないでください。

リクライニングの仕方

- ・リクライニングレバーを操作することで、背もたれ角度を約 104～136° の範囲で無段階に調整ができます。
- ・レバーを離せばその角度で固定されます。
- ・リクライニング操作に合わせて座面が前に移動し、さらに座面が下がる事で重心を安定させます。また、最大リクライニング時は座面先端が上がリ、使用者の前ズレを予防します。
- ・フットレストは連動します。

1. タイヤストッパーペダルを踏み、後輪を固定してください。
2. リクライニングレバーを握りながら、左右のリクライニンググリップを下に押すように力を加えて背もたれを倒します。
背もたれを起こす場合は、リクライニングレバーを握りながら左右のリクライニンググリップを引き上げるように力を加えます。



※必要に応じてハンドル切替えボタンを押し、ハンドルの向きを変えてください。

⚠注意

- ※リクライニング操作の際は必ず後輪タイヤをロックしてください。不意に本体が動き、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※リクライニング操作の際は使用者を座面の奥までしっかり座らせてください。また、介助者は左右のリクライニンググリップから手を離さずにゆっくり操作してください。不意に座面が傾き、転倒するおそれがあります。
- ※リクライニングレバーはしっかり握ってください。握りが不十分だと背もたれの角度調節ができません。
- ※必ずリクライニングレバーを握って操作してください。無理に背もたれを倒すと、破損、故障するおそれがあります。
- ※リクライニング操作時は使用者が車椅子からずり落ちたり、座と背のあいだなど可動部に身体がはさまれないよう使用者の状態に注意してください。
- ※背もたれとフットレスト、レッグレストは連動します。リクライニング操作の際は足の位置も確認しながら操作してください。
- ※リクライニング操作の際は両側のグリップをしっかり握り、左右均等に力を入れてください。
- ※ヘッドレストやワイヤーを握ってリクライニング操作をしないでください。
- ※背もたれを倒した状態で使用者の上体を起こさないでください。転倒、転落するおそれがあります。
- ※背もたれを倒した状態で背もたれの上に乗らないでください。バランスを崩し、転倒、けがをするおそれがあります。また、破損するおそれがあります。
- ※乗り降りする際は、背もたれを完全に起こしてください。
- ※リクライニングした状態で走行しないでください。
- ※車椅子を動かす際はハンドルを握って操作してください。リクライニンググリップを持って操作しないでください。

ソフトシート(背シート・座シート・レッグシート)、肘パッドの交換

※背シートと座シートは当たらないように少しリクライニングをしてから、取り外し、取り付けを行ってください。

●取り外し方

- ・背もたれや座面、レッグサポートの裏側からソフトシートを押し、取り外します。



- ・肘パッドは接着されています。接着面に肘パッドが残らないよう取り除いてください。

⚠注意

- ※頻繁にソフトシートを取り外さないでください。何度も外されると裏面の凸部が破損するおそれがあります。
- ※ソフトシートを取り外す際は、必ず背もたれや座面、レッグサポートの裏側からソフトシートを押し、取り外してください。
- ※ソフトシートを横から引っ張ったり、力を入れて抜かないでください。ソフトシートが裂ける場合があります。
- ※肘パッドは接着されています。交換する時以外は取り外さないでください。
- ※ソフトシート、肘パッドは消耗品です。汚れたり破損した場合はお買い求めの上交換してください。

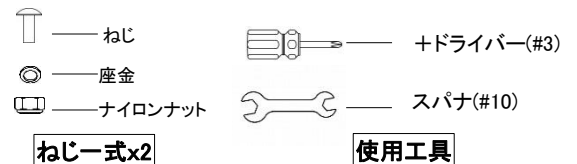
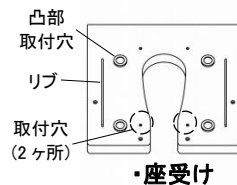
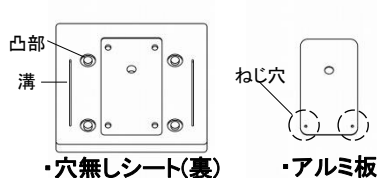
●取り付け方

- ・ソフトシート裏面の凸部を、背もたれや座面、レッグサポートのそれぞれの穴に合わせ、上からしっかり押し付けて取り付けます。
- ・肘パッドは接着面の汚れや水分を取り除き、接着剤を少量塗布して貼り合わせ、接着するまで軽く固定してください。

⚠注意

- ※ソフトシートがしっかり固定されているか確認してから使用してください。転倒、けがをするおそれがあります。
- ※肘パッドがしっかり接着されているか確認し、使用してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※座面シートの水抜き穴に指を入れないでください。指が抜けなくなったり、けがをするおそれがあります。

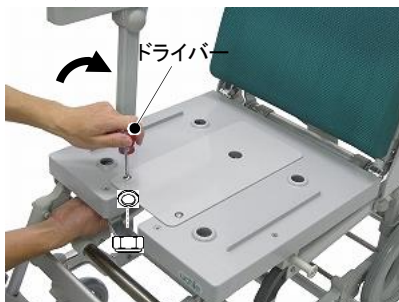
U型→穴無しシートへの交換



1. アルミ板のねじ穴と座受けの取付穴を合わせ、アルミ板を座受けに置いてください。



2. アルミ板に通したねじに座金とナイロンナットを取り付け、#3 のドライバーと#10 のスパナでしっかり締めてください。(2ヶ所)



3. 穴無しシート裏面の凸部と溝を座面の凸部取付穴とリブにそれぞれ合わせ、上からシートを押しつけてください。



⚠注意

- ※アルミ板取付後はアルミ板が座受けに固定されているか確認してください。
- ※シート取付後は凸部がしっかりはまり、固定されているか確認してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- ・穴無しシートから U 型シートへ変更する場合は、#3 のドライバーと#10 のスパナを使用してねじとナイロンナット、座金を取り外し(2ヶ所)、アルミ板を取ってから、U型シートを取り付けてください。

ガスシリンダーについて

・ガスシリンダーにより、リクライニング操作がラクに行えます。

⚠️ 注意

※6ヶ月に一度は背もたれを最後まで倒して起こす操作を最低3回は行ってください。6ヶ月以上ガスシリンダーを動かさないと内部のシール材が劣化し、故障するおそれがあります。定期的に背もたれを最後まで倒して起こす操作をし、ガスシリンダーを動かしてください。

※絶対に分解しないでください。高圧ガスが封入されており、そのまま分解すると大変危険です。
※火の中に入れるなど加熱しないでください。高圧ガスの膨張により本体が破裂したり、オイルが噴き出すなど大変危険です。

※-20℃～80℃の温度環境下で使用してください。

※水中での使用やホコリの多い場所での使用はしないでください。故障の原因となります。

※衝撃を加えるなどして変形させないでください。故障の原因となります。

※ガスシリンダーを塗装しないでください。

※ロッド(伸縮部)にオイルやグリスなどを注油したり付着させないでください。故障の原因となります。

※ロッドにホコリや粘着テープなどの異物を付着させないでください。故障の原因となります。

※ロッドに傷をつけないでください。故障の原因となります。

※ロッドは伸縮する度に少量のオイルが残留しますが、故障ではありません。

※多量のオイル漏れやロッドの伸縮に異常がある場合はすぐに使用を中止し、お買い求めの販売店に点検、修理を依頼してください。

※ガスシリンダーは消耗品です。徐々にガスの圧力が低下します。不具合が発生した場合はすぐに使用を中止し、交換してください。

※廃棄する際はガスが抜けきっていること(ロッドを縮めて伸びてこない状態)を確認してから廃棄してください。

ガスシリンダー



ロッド(伸縮部)

お手入れの方法

・ご使用後は、石けんやシャンプー、入浴剤などを洗い流してください。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませたやわらかいスポンジや布で拭き、その後やわらかい布などで乾拭きしてください。

・ご使用後は、日陰の通気性の良い場所で乾かしてください。濡れたまま放置されますと、塗装はがれ、カビの原因となります。

・車輪にほこりが付着すると、きしむ事があります。その際はシン油を少量注油してください。むやみに注油されますとほこりが付きやすくなり、汚れますのでご注意ください。

・ソフトシート、肘パッドは消耗品です。汚れたり破損した場合はお買い求めの上交換してください。

⚠️ 注意

※ご使用後は必ず乾かしてください。濡れたまま放置されますと、塗装はがれ、カビの原因となります。

※お手入れをされていても、カビが発生する場合があります。

※塩素系・酸性・アルカリ性洗剤、シンナー・ベンジン等は絶対に使用しないでください。また、タワシやみがき粉、研磨剤等は使用しないでください。本体が劣化し、破損、けがの原因となります。

※直射日光に当てないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。また、退色するおそれがあります。

※熱湯をかけないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。

定期点検の実施

安心、安全にお使いいただくために定期的に点検を実施してください。

点検項目	対処
車輪やキャスターにがたつきやひび割れなどの異常はありませんか？	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
車輪のロックがかかりますか？	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
背、座、レッグシート、肘パッドにキズや汚れなどはありますか？	損傷が激しい場合はお買い求めの上交換してください。
ねじはゆるんでいませんか？	ゆるんだねじを締めてください。ねじが締まらないなど異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
ワイヤーのほつれ、切れなどはありませんか？	ワイヤーに切れなどの異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
リクライニング操作がスムーズにできますか？	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
⚠️ 注意 ガスシリンダーから多量のオイル漏れはあ	すぐに使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。

※車椅子に異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。

安全上の注意事項

使用上のご注意

安全のため必ずお守りください

- 本製品は全介助が必要な方を対象にした商品です。使用する際は必ず介助者が付き添い、介助者が操作してください。
- 室内専用です。屋外では使用しないでください。
- 浴槽に沈めての使用(中間浴)はしないでください。
- 温泉水や、硫黄系の入浴剤をかけての使用はしないでください。腐食による破損、けがをするおそれがあります。
- 本製品を本来の目的以外で使用されたり、お客様ご自身での改造や分解が原因で起きた破損・事故に関しましては、保証対象外となりますのでお止めください。
- 本製品は1人用です。2人以上で使用しないでください。
- 故障の原因となりますので、次のところに放置しないでください。
 - ・戸外・直射日光のあたる場所・冷暖房器の冷気や熱気が直接当たる場所
 - ・ストーブなど火気の近く・高温多湿、低温な場所・風通しの悪い場所
- 踏み台の代わりとして座面の上に立つ、本製品に物を載せて運ぶなど、『シャワー車椅子』以外の用途で使用しないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けや背もたれに腰掛けしないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けや背もたれを、ななめや他方向から押さないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- フットレストパイプは必ず取り付けて使用し、走行中はフットプレートに足を必ず乗せてください。けがをするおそれがあります。
- 片側だけに無理な荷重をかけないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 本製品に座ったまま、前方の地面に置いてある物を拾うなどの、強い前傾姿勢をとらないでください。車椅子ごと転倒し、けがをするおそれがあります。
- Pタイル、フローリングなど、硬質な滑りやすい床面で使用する場合は、乗り降りの際に特に注意してください。
- 移乗、停車、入浴、背もたれの角度調節をする際は、必ず後輪タイヤをロックしてください。不意に本体が動き、転倒、けがをするおそれがあります。
- 石鹸やシャンプーを使用した床面や濡れている床面では、車輪を固定しても本体が動く場合があります。
- 石鹸やシャンプーを使用した際は、必ず洗い流してからお乗りください。滑って転倒、けがをするおそれがあります。
- 本体を持ち上げる際に、ハンドル、肘掛け、レッグサポートやフットレスト、ヘッドレストなどを持たないでください。
- 使用者がハンドルを支えにしての移動や、立ち上がりはしないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- ハンドルや背もたれ、ヘッドレスト、リクライニングレバー、肘掛け、フットプレートなどに重いものを引っ掛けしないでください。破損、転倒するおそれがあります。
- 乗り降りされる際は、次のことに注意してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
 - ・後輪タイヤをロックしてください。
 - ・肘掛けや座面の片側だけに手をついたり、肘掛けを手すり代わりにして、横方向に力をかけないでください。
 - ・座面の前端部に荷重を掛けないでください。後輪が浮き上がり、車椅子ごと前に転倒するおそれがあります。前輪が後ろ向きの場合は特に注意してください。
 - ・必ずフットプレートをはね上げてください。フットプレートの上ののって乗り降りしないでください。
 - ・平坦な場所で行ってください。傾斜のある場所では乗り降りしないでください。
 - ・介助者が使用者をしっかり支えてください。
- 傾斜のある場所では駐車しないでください。ロックをかけても動く場合があります。
- 肘掛けを使用する際は、かならず肘ロックをしてください。ロックがされていないと、不意に肘掛けが外れ、危険です。
- 肘掛けをはね上げたり下ろす際に、腕や手、指などをはさまないように注意してください。
- 走行中に身体を乗り出さないでください。
- 車椅子に乗った状態で身体を横方向に大きく傾けるなど、片側のみに体重を掛けないでください。転倒するおそれがあります。
- 走行中は、フットプレートに足を必ず乗せてください。けがをするおそれがあります。
- リクライニングレバーを握りながら走行しないでください。また、走行中はリクライニング操作をしないでください。
- 車輪を固定したまま押さないでください。破損、故障のおそれがあります。
- 背や座、レッグシートは、交換時以外は取り外さないでください。シート裏面が破損するおそれがあります。
- リクライニング操作の時は、必ずタイヤストッパーペダルを踏んで後輪をロックし、本体が動かない事を確認してから操作してください。ロックがされていないと不意に本体が動き、バランスを崩して転倒、けがをするおそれがあります。
- リクライニングをしたり戻す際は、かならずリクライニングレバーを握って操作してください。無理に背もたれを倒したり戻されると、破損、故障するおそれがあります。
- リクライニングレバーを握った瞬間、使用者の体重の重みで背もたれがすぐに傾こうとしますので、リクライニングレバーを操作するときは、リクライニンググリップをしっかりと握って操作してください。
- リクライニング状態の背シートや上がったレッグサポートに乗らないでください。バランスを崩し、転倒、けがをするおそれがあります。また、破損するおそれがあります。
- 背もたれを起こしてから段差を乗り越えてください。破損、転倒するおそれがあります。
- ねじがゆるんだまま使用しないでください。
- ガスシリンダーのロッドに注油をしないでください。油漏れの原因となります。
- 安心、安全にお使いいただくために、定期的に点検を実施してください。
- ガスシリンダーに多量の油漏れが発生した場合はすぐに使用を中止し、お買い求めの販売店に点検、修理をご依頼ください。
- 背もたれの角度を調節する際は、可動部で身体や衣服などを挟みこまないよう注意してください。また、周囲に障害物がないか確認してください。角度を変えると全長が変わり、壁や家具などを傷つけるおそれがあります。
- ヘッドレストを持って車椅子の移動や背もたれの角度調節をしないでください。
- ヘッドレストを持ち上げたり無理な力を加えないでください。
- 車椅子を操作、調節する際はゆっくり動かしてください。急な操作を行うと、転倒、転落、破損、けがをするおそれがあります。また、ガスシリンダーが破損するおそれがあります。

商品廃棄方法

各市区町村条例で定められた分別に従って廃棄してください。

